

平成 2 1 年度自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) 関西電力株式会社 相生発電所

1 環境保全活動に関する方針等

1 - 1 環境保全活動に関する方針

相生発電所環境方針

相生発電所は瀬戸内海国立公園内の豊かな自然環境と地域環境との調和を第一に活動する発電所として、所内で活動するすべての関係者が一丸となって自発的・積極的に事業活動による環境影響の低減活動に取り組むとともに、地域の環境改善に関する活動に積極的に協力し、地域社会から信頼される発電所になります。

< 行動方針 >

1. 自然および地域環境への調和と地域活動への貢献

発電所および周辺地域の植樹活動や環境保全活動に積極的に取り組み、自然および地域環境との調和に努めます。

また、地域環境の保全・改善活動の一助となる先端情報の収集・提供および次世代層の教育などに積極的に協力します。

2. 環境負荷低減活動の積極的な推進

CO2など、事業活動に伴う環境への影響度に常に注意を払い、継続的な改善活動を展開します。

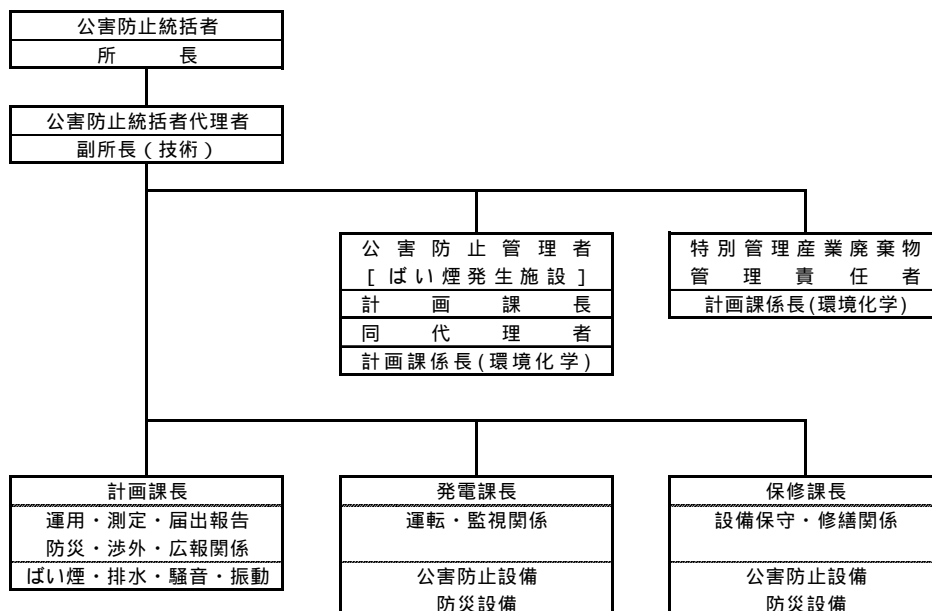
そのため、関係法令や環境保全協定の遵守はもとより、自主管理目標を設定して設備運用の細部に亘り、徹底した改善対策を検討するとともに、廃棄物の低減を積極的に展開します。

3. 環境改善に積極的な職場風土の醸成

発電所内で活動するすべての関係者が一丸となって積極的に環境改善に取り組めるような職場風土を醸成するため、環境管理システムの整備、環境管理に関する情報公開および教育・訓練を継続的に実施するとともに、取り組みに関する発電所内のコミュニケーションを活発に行ないます。

1 - 2 環境保全活動に関する組織体制

< 相生発電所環境管理体制 >



2 環境保全活動の実施状況等

項目	取組結果	今後の取組計画
省エネルギー活動の推進	<p>1号機ボイラー自動制御装置のソフト等の改造を行い、1 u D S S 起動時に主蒸気管ドレン弁を開とし、主蒸気温度を引き下げることによりMT通気条件を早期に成立させ、燃料使用量の削減を図った。</p> <p>2号機フレームデテクタ冷却ファンの停止条件温度を50 から150 に変更することで、フレームデテクタ冷却ファンの停止時期を早めることにより、所内電力の低減を図る。</p>	<p>維持継続</p> <p>設備改造済み運用は平成22年度から実施</p>
廃棄物3Rの推進	<p>日々の廃棄物管理・処理を適正に実施し、リサイクル率の向上を図った。</p> <p>ユニット稼働率の上昇によるばいじんのリサイクル量の増加、リサイクル可能物の分別徹底により、リサイクル率は目標を大きく上回った。</p>	<p>継続実施</p>
車両燃費の向上	<p>臨時便の乗り合わせの慫慂、少人数乗車時のバス使用制限の徹底により車両燃費向上を図った。</p> <p>車両停止中のアイドリングストップの徹底を行った。</p>	<p>継続実施</p> <p>継続実施</p>
コピー用紙使用量の削減	<p>不要な印刷の抑制を所員に啓発するとともに、用紙裏面活用を徹底し使用量の削減を行った。</p>	<p>継続実施</p>
グリーン購入の推進	<p>オフィス用品のグリーン購入を徹底し、グリーン購入率100%を達成した。</p>	<p>維持継続</p>